

事業名	ヤングケアラー実態調査から見えた課題を踏まえ ヤングケアラーへの支援の取組を強化します
------------	--

ここがポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◆ヤングケアラー実態調査で、家族の世話をしている子どもの傾向や、家庭への介入の難しさを把握しました。 ◆調査結果から見えた3つの課題の解決に向け、関係機関と連携して取組を進めます。 	事業費	1,797万5千円
----------------	---	------------	------------------

概要	<p>区は、区内に潜在するヤングケアラーの実態を把握して適切な支援策を検討するため、令和4年度に「ヤングケアラー実態調査」を実施しました。調査結果から見えた課題を踏まえ、関係機関等と連携し、ヤングケアラーへの支援の取組を強化します。</p> <p style="text-align: center;">ヤングケアラー実態調査(令和4年9月~10月実施) 概要</p> <p>調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 【子ども】 区立小学校に在籍している小学生、中学生、高校生世代 調査内容: 普段の生活に関することや世話をしている家族の有無 など 【事業所等】 高齢者・障害者・子育て家庭の支援に関わる事業所、区立小・中学校 調査内容: ヤングケアラーと思われる子どもの有無、支援ニーズ など <p>子どもへの調査結果</p> <p>世話をしている家族が「いる」と回答した子どもから、「勉強や友達と過ごす時間が足りない」、学校や周りの大人に対し、「自分のことについて話を聞いてほしい」などの意見がありました</p> <p>事業所等への調査結果</p> <p>「家庭内の状況が見えにくいので実際の状況がつかみづらい」など、家庭への介入の難しさを感じている事業所が多くありました。また、「子ども自身が困っていることを伝えるのが難しいのではないか」という意見もありました。</p> <p style="text-align: right;">区では、今回の事業所等への調査で確認できたヤングケアラーと思われる子ども(42人)に対し、関係機関と連携して適切な支援につなげています。</p> <p style="text-align: right;">詳しい調査結果は区ホームページをご覧ください。➡ </p> <p style="text-align: center;">調査結果から見えた3つの課題と区の取組</p> <p>課題① 家庭が抱える様々な状況・課題の共有と支援 令和5年4月に区にヤングケアラー支援コーディネーターを配置するとともに、「ヤングケアラー支援体制検討委員会」を設置して関係機関との連携強化を図り、各家庭の状況や課題を共有して適切な支援につなげます。</p> <p>課題② 子どもが声を上げやすい環境づくり 区民や支援者向け啓発動画の制作やセミナーの開催など、ヤングケアラーに関する周知・啓発を積極的に実施するとともに、正しい理解に向けたガイドラインを令和5年度中に作成し、子どもが声を上げやすい環境づくりを進めます。</p> <p>課題③ 子どもの身体的な負担軽減と心理的サポート 子どもに家事などの負担を負わせない対策を検討するとともに、いつでも気軽に利用できる「みなと子ども相談ねっと」などの、子ども向け相談窓口の周知を強化していきます。</p>		
-----------	--	--	--

問合せ		<p>課長 子ども家庭支援センター 石原 03-5962-7204(直通)</p> <p>係長 子ども家庭支援センター 地域連携担当 高橋 03-5962-7204(直通)</p>
------------	--	--